わに口2点 市文化財に

江戸期にニシン豊漁願い奉納

厚田区初、市内9件目

市教委「本州との交易示す資料」

【石狩】江戸時代の商人村山伝兵衛が厚田村（現石狩市厚田区）押琴（おしごと）にあった弁天社に奉納したとされる二つの「わに口」が、市の文化財に指定された。指定文化財は9件目で、厚田区からは初めて。市教委は「江戸時代のわに口は道央圏では珍しい。本州と盛んな交易があったことを示す貴重な資料」としている。（成田智加）

わに口は神社仏閣の軒先に掛け、参拝者が鳴らすための道具。指定されたわに口は、銅製で直径が23センチと37センチの2種類がある。小さい方には「寛政三辛亥年」（1791年）と「村山伝兵衛」の文字、大きい方には「寛政四壬子」（1792年）の文字が刻印されている。

押琴は江戸時代、松前藩によって開かれた漁場「厚田場所」の中心的な港で、豊漁を祈る弁天社や神社が建てられていた。村山伝兵衛は、厚田場所の請負人だったという。

弁天社は明治初期に廃止され、わに口は押琴の隣にある古潭の龍沢寺（りゅうたくじ）に受け継がれた。昭和40年代に厚田村に寄贈された後、小さい方は北海道博物館、大きい方は厚田総合センターに保管されていた。

市指定文化財は旧石狩市域のものが中心で、浜益区からは「はままず郷土資料館」が指定されている。市教委は2年ほど前から、わに口の調査を進め、市文化財保護審議会に諮問。10月下旬の教育委員会で指定が決まった。

市教委によると、江戸時代のわに口は道内では二十数点見つかっている。ほとんどが道南地方で、道央圏では市内本町の石狩弁天社に1814年（文化11年）から伝わるものなど、数点しかない。

文化財課の工藤義衛課長は「ニシン漁で栄えた厚田の歴史の象徴」と話す。大きいわに口は当面、いしかり砂丘の風資料館（弁天町）に移して保管し、今後の展示法を検討する。

市の文化財に指定された直径37センチのわに口

ん尿といった廃棄物系バイオマスの利活用に力を入れるため、講演会とワークショップを役場で開いた。

北大大学院工学研究院の石井一英准教授が、約40人を堆肥やエネルギーに変え、地域内で循環させる重要性を説明した。

一方で、町は廃棄物処理を石狩市の北石狩衛生センターに委託しており、現状

カラマツ材やアスナロ材で作ったプランター3点、「チエモク」（北区）の道産トドマツを加工した金封1点、「maaberry」（マーベリー、中央区）の

認証式では秋元市長（端）らが新たな認証を見て回った

ルマップ」）を製作した。認証製品を販売する19店やカフェ27店を紹介。地図付きで札幌スタイルの魅力に触れながら、まち歩きを楽しんでもらう狙いだ。

マップはA2判両面カラー印刷で、4千部作製した。道産エゾマツで作ったウクレレや雪の結晶形のキャンドルなど、主な認証製品を紹介。裏面には認証製品を扱う19店の場所を示した地

「札幌スタイル」の認証製品の販売店とカフェを網羅しているマップ

幌スタイルショ
R札幌駅構内の
ぽろ観光案内所
7丁目の観光案
配布している。
2号を発行する

2小で集団風邪 学年、学級閉鎖

【石狩】市教委は13日、インフルエンザとみられる集団感染のため、八幡小6年を学年閉鎖、双葉小5年の1学級を学級閉鎖すると発表した。期間はいずれも14日から3日間。

議会だより

◇国にJR支援求める意見書など可決し閉会　当別町

定例会は13日
一般会計補正予算
案12件や、国にJ
への経営支援を求
書案3件をいずれ
り可決。人権擁護
本俊一氏(70)と宮
(65)の再任に同意
した。

一般会計はふる
記念品に関する負担
70万円など2億4
万円を追加し、総額
090万円となった

障害者求職

①居住地②障害職歴⑤希望職種

1①北区②両下
③建設業経理士2
ン3級（ワード・エ
普通免許④経理事
般事務6年、営業
2①北区②腎臓
技能士1級、玉掛
接、職長・安全衛
普通免許④鉄筋工
工、工場作業、配
3①北区②心臓
免許④営業（農業
清掃商品交換業務
務1年⑤事務、軽作
4①北区②精神